

スペシャルトークイベント

札幌の希少な植物

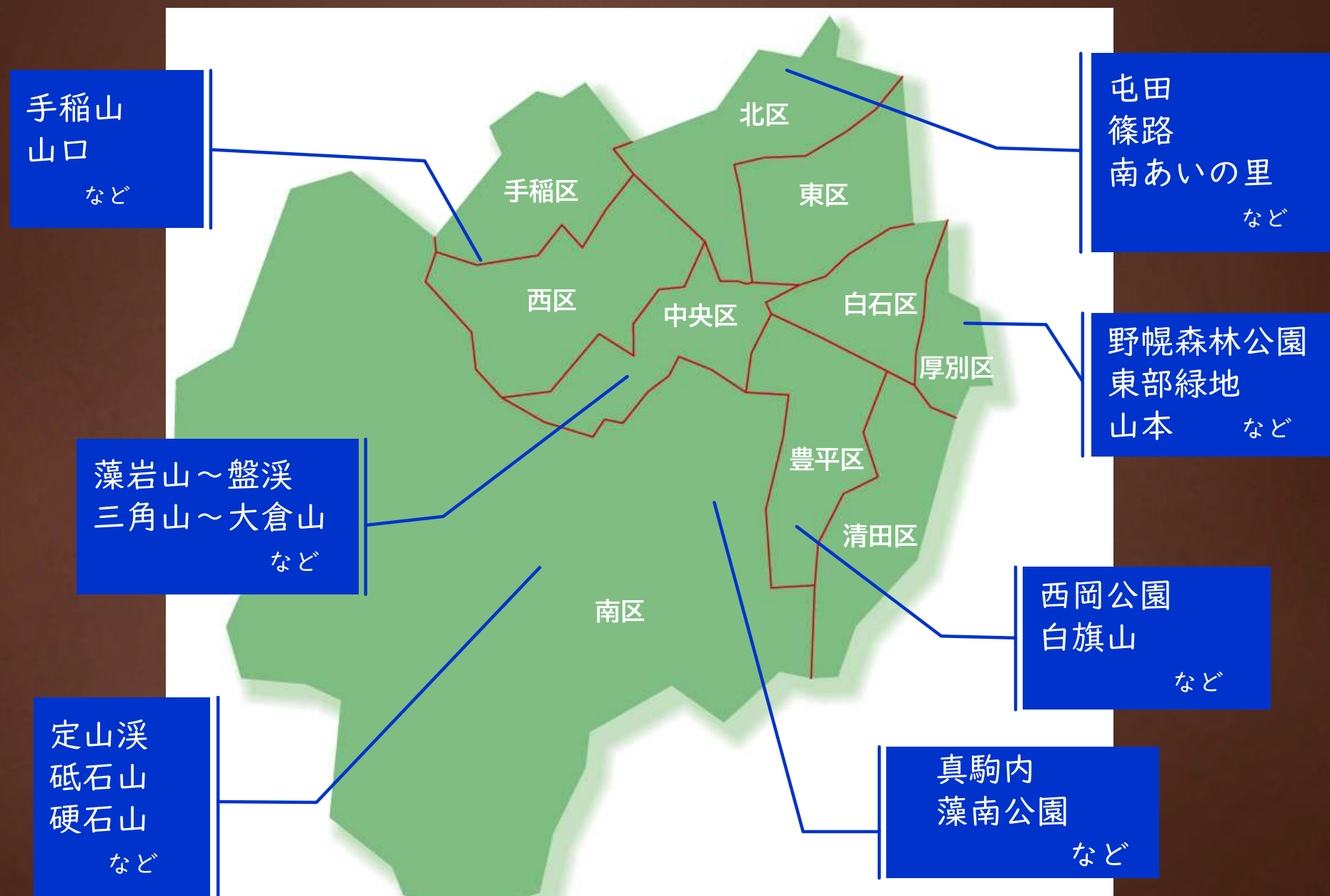
～現状調査の結果から～

話し
札幌市博物館活動センター
学芸員 山崎真実

2023.2.4-5
2022年度札幌市博物館活動センター
都心部イベント in チ・カ・ホから抜粋



調査地（2016年～2021年）



調査方法



調査した植物

- ▶ 「札幌市版レッドリスト2016」に掲載種
- ▶ 上記のレッドリストには載っていないが、市内での確認記録や過去の標本が少ない植物
- ▶ 札幌に縁のある名前をもつ植物や、分布域に特徴がある植物

(名前に札幌の地名が入っている植物、北海道南西部にしか分布しないとされる植物 等)



ノハナショウブ



ツチアケビ



モイワシャジン



オクエゾサイシン

「札幌市版 レッドリスト2016」 カテゴリー判断基準 (動植物共通)



カテゴリー (絶滅危惧の度合いの区分)		カテゴリーの概要 (意味すること)
今は見られない		かつては生育していたが、札幌市では現在は見られなくなり、野生での生育の可能性がないと考えられる種
絶滅危惧	絶滅危惧IA類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種
	絶滅危惧IB類 (EN)	IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種
	絶滅危惧II類 (VU)	絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧 (NT)		現時点での絶滅危険度は小さいが、生育条件の変化によっては絶滅危惧に移行する可能性のある種
情報不足 (DD)		評価するだけの情報が不足している種
留意 (N)		保護に留意すべき種

「札幌市版レッドリスト2016ガイドブック」(札幌市環境局)より。カッコ書き・ふりがなを補足。

トピック①
札幌の花 スズラン



街中でよく見るスズランは ドイツスズランです！

海外原産
植えたもの

見分けポイント

	スズラン	ドイツスズラン
①おしべの色	黄色っぽい 	黄緑色っぽい 
②花茎の長さ	葉より低い 	葉と同じくらい 

スズラン

【鈴蘭】

クサスギカズラ科

札幌市版RL2016：留意

環境省RL 2020：なし

学芸員のフィールドノート

- ▶ 2018年に環境局生物多様性担当係と共同調査。厚別区、白石区などで確認。
- ▶ 調査した生育地では開花はなかった。林内で光が差し込む場所に突然に生えている。周囲の大きな草木との光をめぐる競争が考えられる。
- ▶ 地域で保全活動を行っている手稲区の富丘西公園は観察のみ（写真）。

生育環境



札幌市の
花

スズラン生育地①（厚別区）

- ▶ 7地点で調査
- ▶ 2次林
- ▶ 高木層（10m以上の木）：
ミズナラ、コナラ、シナノキ、ホオノキ
- ▶ 立地環境：南向きの斜面～平坦地、
林床（林の中）～林縁
- ▶ 開花個体なし。
- ▶ 周囲は30cm以下の草本。



生育地の真上を見上げた写真（開空度）



周囲の環境

スズラン生育地②（白石区）

- ▶ 11地点で調査
- ▶ 2次林
- ▶ 高木層（10m以上の木）：
コナラ、ミズナラ、ツリバナ、
- ▶ 立地環境：南～東向きの緩斜面、
林床～林縁
- ▶ 開花個体なし。
- ▶ 周囲は高さ30cm以下の草本や低木。



生育地の真上を見上げた写真（開空度）



周囲の環境

トピック②
山に生きる植物たち



ジンヨウキスミレ スミレ科

【腎葉黄堇】

札幌市版RL2016: 絶滅危惧IA (CR)

環境省RL 2020: 絶滅危惧IB (EN)

生育環境



- ▶ なぜ、大雪山とは遠く離れた札幌の山にあるのか、詳しいことは分かっていない。



日本固有種

エゾルリムラサキ

【蝦夷瑠璃紫】

ムラサキ科

札幌市版RL2016: 絶滅危惧IA (CR)

環境省RL 2020: 絶滅危惧IB (EN)

学芸員のフィールドノート

- ▶ 市内で過去に記録のある唯一の場所へ！ けっこうな絶壁で、気温35度の猛暑も忘れる冷汗もの。
- ▶ 手の届くところにある個体を見つけて、なんとか植生調査を実施。
- ▶ 日本国内では道内数カ所にしかない。ジンヨウキスミレ同様に、なぜ札幌にポツンと分布しているのか？

生育環境



キタダケデンド (ヒメデンド) イワデンド科

【北岳連朶】

札幌市版RL2016: 絶滅危惧IA (CR)

環境省RL 2020: 絶滅危惧IB (EN)

学芸員のフィールドノート

生育環境



- ▶ 市内の1カ所で確認。山のガケが崩れて大きな岩が積み重なった場所。
- ▶ 全国でも数カ所でしか見られないレアなシダ植物。その脇を登山者が登っていく。



イトキンポウゲ

【糸金鳳華】

キンポウゲ科

札幌市版RL2016: 絶滅危惧IA (CR)

環境省RL 2020: 準絶滅危惧 (NT)

学芸員のフィールドノート

- ▶ 湖岸の湿地に生える植物で、国内でも数カ所、市内では1カ所に知られている。
- ▶ マット状に繁茂するが、果実はほとんど確認できなかった。



生育環境



ホテイヤツモリソウ ラン科

【布袋敦盛草】

種の保存法指定種

札幌市版RL2016: 絶滅危惧IA (CR)

環境省RL 2020: 絶滅危惧IA (CR)

生育環境



学芸員のフィールドノート

- ▶ 重要な種のため、2018年から5年間の継続調査を実施。2つのエリアで総計40個体を確認。そのうち、10個体が途中で確認できなくなった。
- ▶ これまで知られていなかった新たな生育地を発見！発見者によると「経験上、ありそうだなと思ったから」とのこと。
- ▶ 6月はこの花目当ての登山者が多い。「調査ですか？」と声をかけられ、かつての生育状況を教えてくれたことも。



トピック③
偶然見つけた！ 絶滅危惧植物



ハイハマボツス

【這浜払子】

オオバコ科

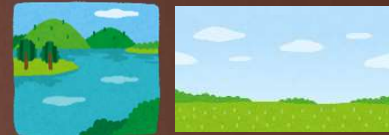
札幌市版RL2016: 情報不足(DD)

環境省RL 2020: 準絶滅危惧(NT)

学芸員のフィールドノート

- ▶ 別の植物の調査に向かう途中で、たまたま発見！そこで休憩しなかったら、出会えなかった。第六感？
- ▶ 池・沼の岸辺に生える植物。発見した場所は、小さな沢筋の水たまり。
- ▶ 昭和10年代以前の標本では、白石や琴似付近でも採集されている。当時は水辺があったことを植物標本が教えてくれる。

生育環境

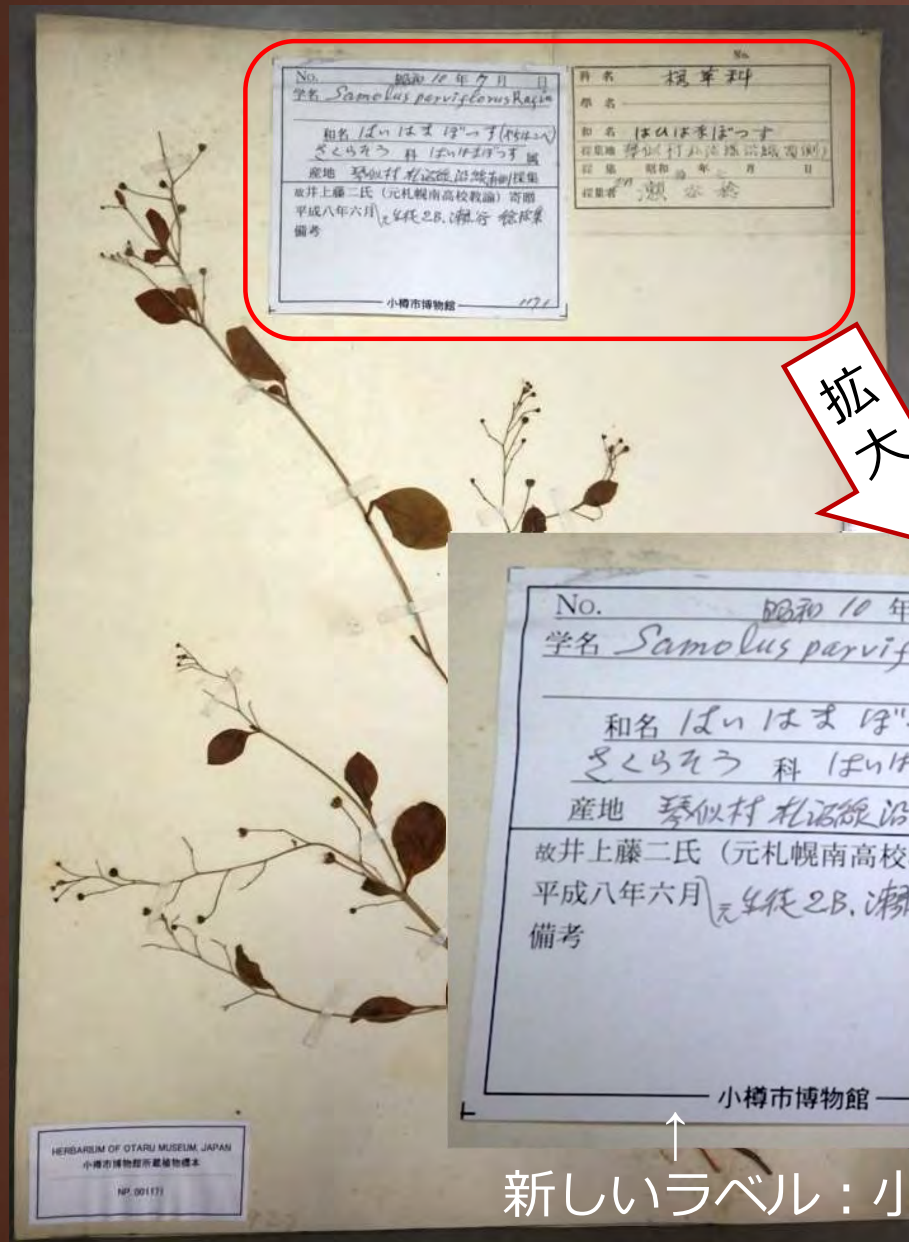


市内で**新**産地
(2017年報文公表)

発見した生育地の環境



過去の押し葉標本が語ること



収蔵：小樽市総合博物館
標本番号NP001171

No. 昭和10年7月 日	科名 楊草科
学名 <i>Samolus parviflorus</i> Raquin	學名
和名 はいはまほ"っす(やちまへ) さくらそう 科 はいはまほ"っす 属	和名 はいはまほ"っす
産地 琴似村 花沼線沿線南側採集	採集地 琴似村 花沼線沿線(南側)
故井上藤二氏(元札幌南高校教諭)寄贈	採集 昭和拾年七月 日
平成八年六月(元佐藤2B、瀬谷 穂採集)	採集者 瀬谷 穂
備考	
小樽市博物館 1171	

古いラベル
：寄贈者が作成（原本）

新しいラベル：小樽市博で原本を転写し新たに作成。

フォーリーガヤ

【フォーリー茅】

イネ科

札幌市版RL2016: 絶滅危惧IA (CR)

環境省RL 2020: 絶滅危惧IA (CR)

学芸員のフィールドノート

- ▶ 2021年に風穴地の調査で偶然に発見。学芸員はこの植物をここで初めて見た。
- ▶ 同行の首藤博士（北大総博）がこの植物を見た経験があったので気づくことができた。学芸員一人では素通りだったろう。
- ▶ 冷たい風の吹き出し口で、コケがもふもふと生えている場所に生育。
- ▶ 生育範囲は数mと非常に狭く、崩れやすい場所。実際、2022年に隣の斜面が崩壊！

生育環境



イネ科

札幌市版RL2016: なし

生育環境



▶ 札幌市版レッドリスト2016
では類似種ホソバドジョウ
ツナギが準絶滅危惧（NT）。
湿地や水辺を好み、全国的
にも希少な植物。

▶ 2021年に北区の河川整備の事前調査で見つかり、情報をいただいた。河川整備では群落の一部を残すことに。

見分けが難しいのと目立たないのとで、専門家でも見
 過ごしている可能性が高い。
 ホソバ～、ハイ～ともにお
 去の市内の標本に誤同定が
 ないか確認する必要がある。



標本：札幌市博物館活動センター収蔵

トピック⑤
市民が見つけた！ 珍しい植物



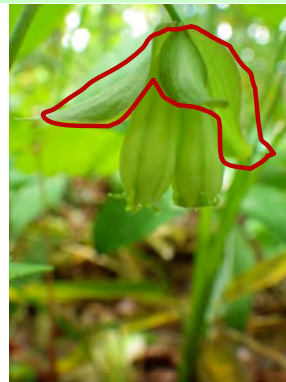
コウライワニグチソウ

【高麗鰐口草】
クサスギカズラ科

学名 *Polygonatum x desoulavyi*

ワニグチソウ と ヒメイズイの雑種由来の植物

親 ワニグチソウ: 苞あり、大型



親 ヒメイズイ: 苞なし



雑種

コウライワニグチソウ
苞あり、小型



コウライワニグチソウ

クサスギカズラ科

【高麗鰐口草】

札幌市版RL2016：絶滅危惧IB(EN)

環境省RL 2020：絶滅危惧IB(EN)

学芸員のフィールドノート

- ▶ 2018年に市内2カ所で調査したが、見つからなかった。年度末の活動報告展で「未確認」として紹介。
- ▶ 展示を見た植物好きの市民が2019年に発見！
- ▶ 2021年には果実が付いているのを確認。タネに発芽能力があるかどうかは未確認。

生育環境



いつもの場所が 「特別」

...なのかもしれない？！
と、思ってみる。

謝辞

調査（現地・文献資料）には多くの専門家、植物観察愛好家の皆さまにご協力いただきました。今後ともよろしくお願いいたします。

